



工場出荷サーバ向け Cisco HyperFlex Systems サーバイメージング

- [標準インストールの概要 \(1 ページ\)](#)
- [工場出荷 Cisco HyperFlex Systems のインストールと構成 \(1 ページ\)](#)
- [Installing VMware ESXi, on page 3](#)

標準インストールの概要

2024年4月以降、HyperFlex サーバは VMware ESXi が事前にインストールされていない状態で出荷されます。この章では、Cisco HyperFlex インストール用に工場出荷サーバを手動で準備するプロセスについて説明します。HyperFlex のインストールを開始する前に、ESXi ISO のインストールは必須です。

この標準のインストール方法は、以下のインストール シナリオに使用されます。

- 新規クラスタの展開。
- コンバージド ノード拡張

工場出荷 Cisco HyperFlex Systems のインストールと構成

始める前に

Cisco HyperFlex System のインストールと設定の要件を確認します。詳細については、[インストールの前提条件](#)を参照してください。

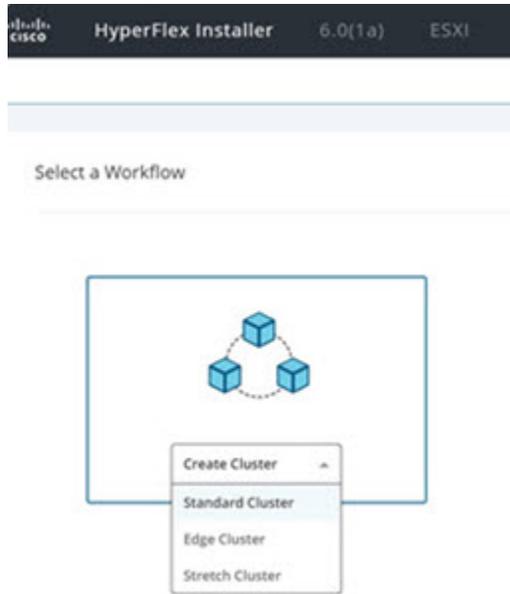
ステップ1 「[ソフトウェアのダウンロード](#)」から **Cisco HyperFlex Data Platform** インストーラ OVA ファイルをダウンロードします。

例：

Cisco-HX-Data-Platform-Installer-v5.5.1a-43232-esx.ova

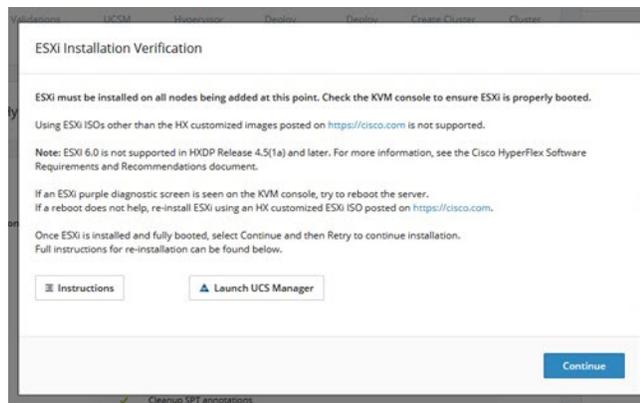
ステップ2 HX Data Platform のインストーラを起動してサインインします。

- a) [標準ワークフロー (Standard Workflow)] を選択します。
- b) [クラスタの作成 (Create Cluster)] > [標準の作成 (Create Standard)] を選択します。



- c) インストールウィザードに従い、必要な詳細を入力します。詳細については、「[インストールワークフロー](#)」を参照してください。

(注) Hyperflex 標準インストールで、工場出荷サーバは VMware ESXi が事前インストールされていない状態で出荷されます。したがって、Hypervisor 構成中にワークフローが失敗するか、一時停止します。



ステップ3 vMedia を使用して、ESXi インストールを実行します。詳細については、「[Installing VMware ESXi](#)」を参照してください。

(注) デフォルトでは、HX Data Platform Installer によって、ESXi サーバーに静的 IP アドレスが割り当てられます。自動 IP アドレス割り当てに Dynamic Host Configuration Protocol (DHCP) を使用することは推奨されません。DHCP を使用する場合は、適切な VLAN を使用して ESXi でネットワークを手動で設定します。

ステップ 4 HX Data Platform Installer に戻り、[再試行 (Retry)] ボタンをクリックします。

ウィザードで必ず [ディスク パーティションのクリア (Clear Disk Partitions)] を選択してください。

Installing VMware ESXi

A supported version of VMware ESXi must be installed on all HX servers in your deployment. At the time this was authored, Cisco recommended installing ESXi 7.0 U2 or later to attain the best HX snapshot performance and functionality. See the [Cisco HyperFlex Software Requirements and Recommendations](#) document for the current list of supported ESXi versions.

To install VMware ESXi complete the following tasks in order.

1. [Download the ESXi Image.](#)
2. [インストーラへの VMware ESXi ISO のアップロード, on page 3](#)
3. [Cisco UCS Manager での vMedia およびブート ポリシーの設定, on page 4](#)
4. [VMware ESXi のインストールの開始, on page 5](#)
5. [VMedia とブート ポリシーの変更を元に戻す, on page 6](#)

To get started, download the ESXi image:

ステップ 1 Download the VMware ESXi image from the Cisco HyperFlex Data Platform [Download Software](#) page. Select a networked location that can be accessed through Cisco UCS Manager.

Example:

The ESXi image name may vary based on the recommended version for your deployment.

```
HX-ESXi-7.0U3-21930508-Cisco-Custom-7.3.0.16-install-only.iso
```

ステップ 2 Continue to [インストーラへの VMware ESXi ISO のアップロード, on page 3](#).

インストーラへの VMware ESXi ISO のアップロード

VMware ESXi ISO をアップロードするには、次のタスクを実行します。

ステップ 1 SCP コマンドを実行して、VMware ESXi ISO をユーザーのマシンからインストーラの `/var/www/localhost/images` パスにアップロードします。

例：

```
scp ~/Downloads/HX*ESX.iso root@<installer_ip>:/var/www/localhost/images
```

ステップ 2 Cisco UCS Manager での vMedia およびブート ポリシーの設定 (4 ページ) に進みます。

Cisco UCS Manager での vMedia およびブート ポリシーの設定

Cisco UCS vMedia ポリシーとブート ポリシーを設定するには、次の手順を実行します。

- ステップ 1 Cisco UCS Manager のナビゲーション ペインで [サーバ (Servers)] タブをクリックします。
- ステップ 2 [サーバ (Servers)] > [ポリシー (Policies)] > [ルート (root)] > [下位組織 (Sub-Organizations)] > [hx-cluster] > [vMedia ポリシー (vMedia Policies)] を展開します。
- ステップ 3 [vMedia ポリシー HyperFlex (vMedia Policy HyperFlex)] をクリックします。
- ステップ 4 [構成ペイン (Configuration Pane)] で、[vMedia マウントの作成 (Create vMedia Mount)] をクリックします。
- ステップ 5 マウントの名前を入力します (例： **ESX**) 。
- ステップ 6 [CDD オプション (CDD option)] を選択します。
- ステップ 7 プロトコルとして [HTTP] を選択します。
- ステップ 8 [IP アドレス (IP Address)] に HyperFlex インストーラ VM の IP アドレスを入力します (例： **192.168.10.210**) 。
- ステップ 9 [変数イメージ名 (Image Variable Name)] として [なし (None)] を選択します。
- ステップ 10 リモート ファイルとしてインストールされた ESXi ファイル名を入力します。
- 例：
- ESXi ファイル名 **HX-ESXi-7.0U3-21930508-Cisco-Custom-7.3.0.16-install-only.iso**
- ステップ 11 リモート パスとして `/images/` と入力します。
- ステップ 12 [変更の保存 (Save Changes)] をクリックし、[OK] をクリックします。
- ステップ 13 [構成ペイン (Configuration Pane)] で、[構成ペイン (Configuration Pane)] の構成する HX ノードを選択します。[サーバ (Servers)] > [サービス プロファイル テンプレート (Service Profile Templates)] > [ルート (root)] > [サブ組織 (Sub-Organizations)] > [hx-cluster] > [サービス テンプレート hx-nodes (Service Template hx-nodes)] を選択します。
- ステップ 14 [vMedia ポリシー (vMedia Policy)] タブを選択します
- ステップ 15 [vMedia ポリシーの変更 (Modify vMedia Policy)] をクリックします。
- ステップ 16 選択項目から [HyperFlex vMedia ポリシー (HyperFlex vMedia Policy)] を選択して、[OK] を 2 回クリックします。

- ステップ 17 [サーバ (Servers)] > [ポリシー (Policies)] > [ルート (root)] > [サブ組織 (Sub-Organizations)] > [hx-cluster] > [Boot Policy HyperFlex] を選択します。
- ステップ 18 ナビゲーション ペインで、[CIMC マウント vMedia (CIMC Mounted vMedia)] というセクションを展開します。
- ステップ 19 [CIMC マウント CD/DVD の追加 (Add CIMC Mounted CD/DVD)] という名前のエントリをクリックします。
- ステップ 20 [ブート順序 (Boot Order)] リストから [CIMC マウント CD/DVD (CIMC Mounted CD/DVD)] エントリを選択します。
- ステップ 21 [CIMC マウント CD/DVD (CIMC Mounted CD/DVD)] エントリが最初にリストに記載されるまで、[上に移動 (Move Up)] ボタンをクリックします。
- ステップ 22 [変更の保存 (Save Changes)] をクリックしてから [OK] をクリックします。
- ステップ 23 リポートを確認すると、サーバが自動的にリブートします。
- ステップ 24 [VMware ESXi のインストールの開始 \(5 ページ\)](#) に進みます。

VMware ESXi のインストールの開始

VMware ESXi のインストールを開始し、インストールプロセスをモニタします。リモート KVM コンソールセッションを開いてインストール状況をモニタすることを推奨します。起動する手順は次のとおりです。

- ステップ 1 Cisco UCS Manager のナビゲーション ペインで [サーバ (Servers)] をクリックします。
- ステップ 2 [サーバ (Servers)] > [サービス プロファイル (Service Profiles)] > [ルート (Root)] > [サブ組織 (Sub-Organizations)] > [HX クラスタ (hx-cluster)] > [ラック ユニット番号 (rack-unit-number)] の順に展開します。
- ステップ 3 [作業 (Work)] ペインで、[全般 (General)] タブをクリックします。
- ステップ 4 [アクション (Actions)] 領域で、[KVM コンソール (KVM Console)] をクリックします。



- ステップ 5 セキュリティ アラートが表示される場合は [続行 (Continue)] をクリックします。しばらくしてリモート KVM コンソール ウィンドウが開き、サーバのローカル コンソール出力が表示されます。

VMedia とブート ポリシーの変更を元に戻す

- エラー メッセージは無視して構いません。
- 警告メッセージ：DHCP ルックアップに失敗しました。ネットワーク構成をカスタマイズするまで、システムへのアクセスを妨げる可能性があります。

ステップ 6 インストール中に **KVM コンソール** をモニタする対象のサーバごとに、ステップ 2～4 をさらに繰り返します。

これにより、KVM コンソール ウィンドウでモニタしているサーバが即時に再起動し、リモート vMedia マウントから起動して Cisco カスタマイズ ESXi ISO をインストールします。

ステップ 7 VMware ESXi のインストールが成功したことを示すメッセージ：



ステップ 8 [VMedia とブート ポリシーの変更を元に戻す \(6 ページ\)](#) に進みます。

VMedia とブート ポリシーの変更を元に戻す

サーバがブートループに陥ったり、インストール用の ISO ファイルから常に起動したりしないようにするには、ブート ポリシーへの変更を元に戻します。

始める前に

すべてのサーバがリモート vMedia ファイルからすでに起動し、インストール プロセスが開始済みであることを確認します。

ステップ 1 Cisco UCS Manager のナビゲーション ペインで [サーバ (Servers)] をクリックします。

ステップ 2 [サーバ (Servers)] > [ポリシー (Policies)] > [ルート (Root)] > [サブ組織 (Sub-Organizations)] > [hx-cluster_name] > [ブート ポリシー (Boot Policies)] > [ブート ポリシー HyperFlex (Boot Policy HyperFlex)] を展開します。

ステップ 3 [Work] ペインの [General] タブをクリックします。

ステップ 4 [アクション (Actions)] 領域で、**CIMC マウント CD/DVD** をクリックします。

ステップ 5 [ブート順序 (Boot Order)] リストから [CIMC マウント CD/DVD (CIMC Mounted CD/DVD)] エントリを選択し、[削除 (Delete)] をクリックします。

ステップ 6 [変更の保存 (Save Changes)] をクリックし、[OK] をクリックします。

ステップ 7 保留中の変更を承認します。

次のタスク

HX Data Platform Installer に戻り、[再試行 (Retry)] ボタンをクリックして HyperFlex 標準インストールを続行します。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。